営農だより　りんご

令和４年６月１４日発行
弘前地区営農係

今年産の弘前地区管内の肥大状況は、平年より大きい傾向となっています。
園地によっては結実状況にバラつきが見られております。また、春先の気象の影響でサビ果が目立っている園地もありますので、仕上げ摘果ではサビ果などは積極的に摘み取り、カラマツなどで着果量を確保できない場合は、側果で対応しましょう。

肥大状況

６月１０日現在（単位㎝）

		薬師堂	千年第一	小沢
ふじ	本年	２．９	３．０	２．７
	平年	２．６	２．７	２．７

摘　果

摘果が遅れたり最終的な着果量が多いと、今後の玉伸びだけではなく来年の花芽形成や樹勢維持に悪影響を及ぼすので、**仕上げ摘果**は新梢が停止する**７月上旬まで**に終われるようにしましょう。
果実は２～４年枝上に着生した頂芽に成った果実を残し、サビ果や、逆さ実、果台が長い(ふじでおよそ２ｃｍ以上)果実は摘み取り、
葉が多く充実した果そうに成らせましょう。

◆摘果作業のスケジュール

すす病対策

有袋栽培では薬剤散布後５日以内を目安に袋かけを行いましょう。

なお、間隔が空きすぎた場合は実洗いを実施してから袋かけを行いましょう。
また、６月下旬を目安に袋かけを終了するようにしましょう。（袋かけが遅れると鮮明な色が入りにくくなります）
※開花が早い年と満開後７１日～１２０日の総降水量が多いとつる割れの発生が懸念されますので、
つる割れ対策の為にも袋かけに取り組んでみてはいかがでしょうか！

ダニ対策

すでにナミハダニの発生が見られている園地もあります。
ダニの発生によっては、下記を参考に殺ダニ剤を選択しましょう！！

薬剤名	倍数	収穫前日数	ナミハダニ	リンゴハダニ	卵	成虫	ボルドー液混用
ダニオーテF	2,000	前日	○	○	○	○	不可
エコマイト顆粒	2,000	7日	○	○	○	×	不可
マイトコーネF	1,000	前日	○	×	○	○	不可
スターマイトF	2,000	前日	×	○	○	○	不可
ダニコングF	2,000	前日	×	○	○	○	不可
コロマイト乳	1,000	前日	○	○	○	○	※可
オマイト水	750	3日	○	○	○	○	不可
アカリタッチ乳	2,000	-	○	○	×	○	不可

・ナミハダニは樹冠内部の主幹や主枝から直接出ている新梢中位葉について観察してください。
・散布の目安は１葉当たり２個体以上、あるいは寄生葉率５０%以上です。
なお、殺ダニ剤は薬剤抵抗性が出やすいので、各薬剤ともに年１回の使用としてください。

・ダニオーテは銅剤との混用、銅剤使用後は使用しないようにしましょう。ダニオーテを使用してから銅剤を使用する場合は、１０日以上空けましょう。
・コロマイトは乳剤の為、６月下旬まで使用を控えましょう。
・オマイトは７月下旬まで使用を控えましょう。高温、干ばつ、日照不足の条件下では黄変落葉を助長する恐れがある為注意しましょう。
・スターマイト、ダニコングは合わせて年１回の使用にしましょう。

薬剤散布

回数及び散布量	散布時期	対象病害虫	基準薬剤			
			無ボルドー方式	1000ℓ当たり薬量	ボルドー方式	1000ℓ当たり薬量
500L/10a	落花40日後（6月中下旬頃）	黒星病 斑点落葉病・炭そ病 すす点すす斑病 褐斑病・アブラムシ ﾓﾓｼﾝｸｲｶﾞ・ハダニ類	1.ラビライト　500倍 2.サイアノックス　1000倍 3.コルト　6000倍 4.スイカル　1000倍	2kg 1000ｇ 167ｇ 1kg	1.ICボルドー　50倍 2.サイアノックス　1000倍	20kg 1000ｇ
500L/10a	7月初め（7月上旬頃）	斑点落葉病・炭そ病 すす点すす斑病 褐斑病・アブラムシ ﾓﾓｼﾝｸｲｶﾞ・ハダニ類 ﾘﾝｺﾞ ｺｶｸﾓﾝﾊﾏｷ	1.オキシンドー　1200倍 2.サイハロン　2000倍 3.スイカル　1000倍	835ｇ 500ｇ 1kg	1.ICボルドー　50倍 2.サイハロン　2000倍 3.コロマイト　1000倍	20kg 500ｇ 1000ml
500L/10a	7月半ば（7月中旬頃）	斑点落葉病・炭そ病 すす点すす斑病 褐斑病・アブラムシ ﾓﾓｼﾝｸｲｶﾞ・ハダニ類 ﾘﾝｺﾞ ｺｶｸﾓﾝﾊﾏｷ	1.オキシンドー　1200倍 2.フェニックス　4000倍 3.マイトコーネ　1000倍	835ｇ 250ml 1000ml	1.ICボルドー　50倍 2.フェニックス　4000倍	20kg 250ml

ここ最近暑い日が続いております！農作業中の事故には十分気をつけましょう！